

五年戊辰、大宰少貳石川足人朝臣遷任し、
筑前国の蘆城の駅家に餞する歌三首

五四九番

天地の 神も助けよ 草枕 旅行く君が 家に
あめつち かみ たす くさまくら たびゆ きみ いへ
いた 至るまで

五五〇番

大舟の 思ひ頼みし 君が去なば 我は恋ひむな
おほぶね おも たの きみ い あれ
ただ 直に逢ふまでに

五五一番

大和道の 島の浦廻に 寄する波 間もなけむ
やまとち しま うらみ よ なみ あひだ
我が恋ひまくは